

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(751)9140
担当部課名	消防本部	警防	課	
事務事業名	消防団車両維持管理費		事業コード	23130

1 総合計画における位置づけ

政策名	第3章	安全に暮らせる都市の実現をめざします	事業開始年度
基本施策名	第1節	災害に強いまちづくり	~63年度
施策名	第3施策	消防力の強化	

2 実施根拠及び関連法令等

消防組織法、消防力の基準（昭和36年消防長告示第2号）、道路運送車両法

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象（誰、何）	
災害発生時における被害の軽減という市民の期待に応えるため「安心して暮らせる都市の実現」を目指し、活動する消防団の災害出場及び火災予防広報活動に運用する消防団車両を適正に管理することを目的とする。また日常の管理点検等の徹底を図り消防車両としての使用期間を延伸し経費の削減及び車両廃棄に伴う産業廃棄物排出を抑制する。		市民の生命、財産の確保及び被害の軽減	
		対象数	60万市民
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
消防団車両（56台）の継続に係る継続検査、法定点検等車両整備修繕及び車両運用に伴う燃料費、保険料について適切に維持管理を行なう。 重点項目 - バッテリー等の点検管理を行い、廃棄物となる物品の抑制及び経費の削減に努める。		なし	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
		計画年次	年度～年度

4 評価指標

指標名	消防団車両の適正管理		
指標式	消防団車両56台の維持管理を行い災害活動時、車両に係る故障がない場合指標は100%とする。		
指標設定の意図	消防団の災害出場及び火災予防広報活動に運用する消防団車両の整備不良による事故発生防止等適正に管理する		

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度（評価対象年度）		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標	100	100	a 100	b 100	100	
指標			c	d		
指標			e	f		
事業費	決算（予算）額	6,113	6,131	6,051	6,883	6,901
	人員・時間数	2人・112時間	2人・112時間	2人・112時間	2人・112時間	2人・112時間
	人件費	470	470	470	470	470
	その他経費	0	0	0	0	0
	合計	6,583	6,601	6,521	7,353	7,371
特定財源	0	0	0	0	0	

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 A ▼	A : 達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 100.0%	
	B : 一部達成していない(100%> 80%)		
	C : 達成していない (80%>)		
$\frac{a}{b} \times 100 = 100.0\%$	$\frac{c}{d} \times 100 =$	$\frac{e}{f} \times 100 =$	
理由 :	消防団車両の維持管理を適正に実施した。		

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 A ▼	A : 適応している	理由 :	車両継続に係る継続検査の実施及び消防団災害出場に際して故障等なく活動ができるよう日常の管理を行う事業である。
	B : 一部適応していない		
	C : 適応していない		

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 A ▼	A : 妥当である	理由 :	消防団各車両の点検を行い維持管理に努めているが、車両経過年数等によりバッテリー - 交換等必要部品の経費の削減できない場合がある。
	B : 一部妥当でない		
	C : 妥当でない		

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由 :	消防組織法において、市町村の消防に要する費用は市町村が負担することとされており、消防団車両の維持管理を行なうことは必要なことである。
	B : 代替の可能性低い		
	C : 代替の可能性高い		

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 A ▼	A : 満足できる	理由 :	消防団車両を適確に管理することは、市民のボランティアである消防団が地域における各災害に従事することを含め、初期消火、避難誘導及び火災予防広報活動等を通し十分理解の得られる事業である。
	B : 一部満足できない		
	C : 満足できない		

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A : 有効である	理由 :	市民の消防に対する安心への期待に応える点からも、消防力の基礎となる消防団車両の維持管理は必要な事業である。
	B : 一部有効である		
	C : 有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ある</p> <p><input type="checkbox"/> ない</p> <p>説明 : 消防車両の運用は、市民の消防に対する要望が増加する傾向にあることから、維持を適確に実施することで経費削減に少しでも向上できる。</p>
	<p>コスト改善余地</p> <p><input type="checkbox"/> ある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ない</p> <p>説明 : 経費削減には努める必要があるが、車両継続に係る費用等が事業費を占めており、消防団車両維持管理費を削減することは困難である。</p>

7 総合評価

評価 A ▼	他自治体の類似事業との比較	住民の生命・財産等を災害から守る活動上近隣の市町村等においても、相模原市と類似する事業を実施している。
		説明
今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	
<input type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了	

8 二次評価における変更点

--